

証券コード:6923

第120期 株主通信

STANLEY REPORT

2024年4月1日～2025年3月31日



東京都・台東区 上野東照宮
照明デザイン:石井幹子デザイン事務所

STANLEY

スタンレー電気株式会社
STANLEY ELECTRIC CO., LTD.

★ 株主の皆さまへ



株主の皆さまには、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社は2025年3月31日をもちまして第120期の決算を行いましたので、ここにご報告を申し上げます。

代表取締役社長

具 佐 泰 昭

2024年度全体の振り返り

世界経済は、中国で景気は足踏み状態にあり、欧州で持ち直しの動きがみられました。日本およびアジア各国では緩やかに回復し、米国では景気は拡大しました。以上のような事業環境のもと、2024年度の売上高は、Thai Stanley Electric Public Co., Ltd.およびStanley-Angstrom Electric da Amazonia Ltda.の連結子会社化、並びに為替によるプラスの影響がありました。地域別では、中国およびアジアにおける日本車の販売不振による影響を受けたものの、米州の販売は堅調に推移しました。営業利益については、生産革新による合理化効果のプラスの影響があり、また、前年度に計上した過去の品質問題に関わる

費用の剥落の影響がありました。その結果、2024年度の業績は、自動車機器事業が増収増益、コンポーネンツ事業が減収減益、電子応用製品事業が減収減益となり、全体で増収増益となりました。業績の詳細は、決算ハイライトおよび招集通知をご覧ください。

今後の見通し

今後の世界経済は、物価上昇や人件費の高騰、中国市場の低迷および米国の通商政策等、様々なリスクが存在し、予断を許さない状況が続くと見込まれます。2025年度の連結業績予想については、米国における通商政策の影響等を慎重に見極め、合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示する予定です。

還元方針について

当期の期末配当金につきましては、1株当たり40円とし、当中間配当金の1株当たり32円と合わせて年間配当金は72円となります。次期の配当金については、現時点では業績予想の算定が非常に困難であるため、未定とし、配当予想が可能になりました時点で速やかに開示いたします。

なお、還元方針は財務体質と経営基盤の強化を図るとともに、株主の皆さまに対して、安定した配当の

維持および適正な利益還元を行うこととしてまいりましたが、従来の方針を基本としつつ、資本効率を向上させるため、株主還元方針を変更することとしました。今後もさらなる資本効率を重視した株主還元のあり方について検討を継続してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

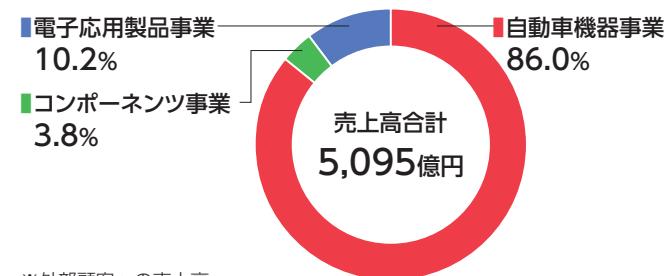
還元方針の変更内容

項目	変更前(2024年度まで)	変更後(2025年度より)
配当金	安定した配当の維持および適正な利益還元を行うことを基本とし、連結配当性向30%以上	安定した配当の維持および 資本効率を重視した適正な利益還元を行うことを基本とし、株主資本配当率(DOE)3.5%または連結配当性向40%のいずれか高い方
自己株式の取得	変更なし	利益還元と企業環境の変化に対応し、継続的かつ機動的に実施

★ 決算ハイライト

売上高 5,095億円 (前期比7.9%UP)	営業利益 490億円 (前期比36.7%UP)	経常利益 554億円 (前期比15.4%UP)	親会社株主に帰属する当期純利益 320億円 (前期比21.0%UP)
-------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--

事業別売上高構成比



※外部顧客への売上高
※上記の3つの事業以外に「その他」の区分として、身体障害者雇用促進事業、グループに対する金融・経営サービス等の事業活動の売上高があります。

地域別業績

	売上高	営業利益
日本	1,242億円	45億円
米州	1,422億円	97億円
欧州	74億円	△1億円
アジア・大洋州	1,594億円	300億円
中国	762億円	72億円

※表示未満単位切捨て
※上記には、連結消去分が含まれており、合計額は連結売上高・営業利益と一致いたしません。

NEWS & TOPICS

ニュース & トピックス

南米ビジネスの強化 —Angstrom Electric Ltda.の買収

二輪メーカーが集積するマナウスに生産工場、サンパウロにテックセンターを有するAngstrom Electric Ltda.を子会社化し、Stanley-Angstrom Electric da Amazonia Ltda. (以下、SEA) として新たにスタンレーグループの一員に迎えました。日系OEMメーカーを中心に四輪ランプを供給してきたサンパウロのStanley Electric do Brasil Ltda. (以下、SEB) とともに、南米をターゲットとして四輪・二輪の設計・開発から生産までを一貫して行える体制をブラジルで構築します。加えて、SEAの生産設備やOEMとのリレーションを活かした売上拡大を狙い、2028年度の二輪売上目標1,500億円を目指し、競争力強化を図ります。



世界初 二輪用マトリクスLEDヘッドランプ(二輪ADB)の開発・量産

世界で初めて二輪用マトリクスLEDヘッドランプ(二輪ADB)の開発をし、量産を開始しました。

ADBとはアダプティブ・ドライビング・ビームの略称で、画像認識カメラシステムによって対向車や先行車の存在、位置をセンシングし、相手のドライバーに眩しさをあたえないように、照射エリアを自動で調整します。

今回採用された二輪用マトリクスLEDヘッドランプは、コーナリング時に車体の傾きに応じて配光パターンを自動調整し、旋回時の良好な視認性にも寄与しています。



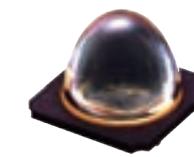
YAMAHA・TRACER9 GT

DMS向け光源の取り組み

DMS(ドライバー・モニタリング・システム)は、運転中のドライバーの状態や表情、視線などを検知・監視し、眠気や注意散漫などの兆候を捉えて警告を行うことで、安全運転を支援するシステムです。

当社では、DMSの光源として使用される赤外LEDを開発し、取組みを強化しています。本製品は出力および配光のバリエーションに富んでおり、車室内のさまざまなカメラ設置位置に対応可能です。これにより、ドライバーの状態を的確にモニタリングし、安全性および快適性の向上に寄与します。

欧州では、居眠り運転などによる事故を防止する観点から、2026年以降、新型車へのDMS搭載が義務付けられる予定です。これに伴い、当該市場の大幅な拡大が見込まれており、当社では新規受注に向けた取組みを積極的に進めています。



赤外LED



赤外VCSEL

スポーツプロモーション

スタンレーレディスホンダゴルフトーナメントの開催やチームクニミツの活動の支援を行っていましたが、新たにラグビーチーム「三重ホンダヒート」の2024-25シーズンパートナー、二輪レーシングチーム「Honda HRC Castrol」の2025年シーズンオフィシャルスポンサーとなりました。

ものづくりだけでなく、スポーツプロモーションを通じて社会貢献活動にも積極的に取り組んでいきます。

試合日程	
スタンレーレディスホンダゴルフトーナメント	
10/10-12	東名カントリークラブ
SUPER GT	
6/27-28	セパン国際サーキット
8/2-3	富士スピードウェイ
8/23-24	鈴鹿サーキット
9/20-21	スポーツランドSUGO
10/18-19	オートポリス
11/1-2	モビリティリゾートもてぎ
MotoGP	
9/26-28	モビリティリゾートもてぎ



サステナビリティへの取り組み

健康経営

「健康」を「競争力」のある企業としての源泉と捉え、社員一人ひとりが心身ともに健康で元気に働き、豊かな個性や能力を如何なく発揮することで、社員のモチベーション向上と持続的に成長する企業を目指しています。

7つの健康行動を「ウェルスタ7 (Well-being Stanley)」として設定し、それに紐づく施策を展開していくことで、社員の健康維持・増進に全社一丸で取り組んでいます。健康の基本である食事・睡眠・運動の施策として、ヘルシーな食堂・弁当メニューの改善・睡眠の教育・運動イベント（体操やウォーキング）の開催に加えて、敷地内禁煙を目指し卒煙施策（オンライン禁煙プログラム、チーム卒煙イベント）を実施しています。

会社全体で健康経営に取り組んだ結果、5年連続で「健康経営優良法人（大規模法人部門）」として認定されました。



各拠点の取り組み

松尾電気

広島県教育委員会より「特別支援学校就職サポート隊ひろしま」推進企業として表彰されました。企業への就職を目指す特別支援学校高等部生徒の働く力の育成および就労促進に著しく貢献した企業を称えるものです。

山形製作所*

やまがたスマイル企業認定制度の最上ランク「ダイヤモンドスマイル企業」に認定されました。この制度は、山形県で誰もがいきいきと働き、幸せに暮らし続けられることを目指して、「ワークライフバランス」や「女性活躍」の推進に取り組んでいる企業等を県が認定するものです。

※現 鶴岡製作所 鶴岡工場 第二工場

✦ 会社情報 (2025年3月31日現在)

■ 会社の概要

創業 1920年12月29日(大正9年)
設立 1933年 5月 5日(昭和8年)
資本金 30,514百万円
社員数 18,581人(連結)
3,836人(単体)

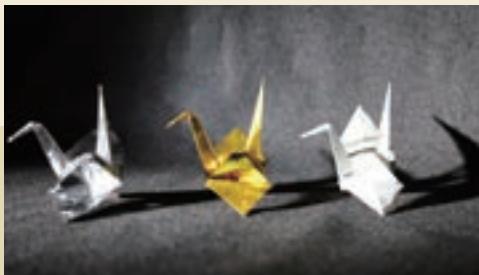
■ 拠点

本社 東京都目黒区
営業拠点 大阪/名古屋/狭山/朝霞/鈴鹿
生産拠点 秦野/岡崎/浜松/広島/山形
研究開発拠点 横浜/宇都宮/秦野
連結子会社 国内7社、海外32社
持分法適用会社 海外2社

このコーナーでは企業活動の一面にスポットを当てお届けします。
今回ご紹介するのは、表紙写真で使用されている金色投光器です。

唯 一無二の「金色色調」、そして的確な演出を可能にする「超狭角配光」。
これらを両立させたLEDSFOCUS GOLD(LLF0111A GOLD)が、指定重要文化財である上野東照宮の社殿と唐門を照らし金色に輝かせ、歴史的建造物の美しさを引き立てています。
(照明デザイン：石井幹子デザイン事務所)

本製品は寺院や仏像など金色の対象物をさらに金色に染め上げ、金色以外の対象物には鮮やかな金色を施します。



白色投光器照射 (左から銀、金、灰色)



金色投光器照射 (左から銀、金、灰色)

Spotlight
金色投光器

STANLEY

スタンレー電気株式会社
STANLEY ELECTRIC CO., LTD.

〒153-8636 東京都目黒区中目黒2-9-13
TEL:03-6866-2222 FAX:03-6866-2678
URL:<https://www.stanley-electric.com/jp/>

UD FONT